

観光客増 中高生が知恵

県内6校外国人向け施策披露

福井

県内の中高生が、福井県への外国人客を増やす政策や手法を発表したアイデアコンテストが21日、福井市のアオッサで開かれた。6校のグループが、お寺に泊まるバス旅行や教育をテーマにした国際会議誘致など、独創的なプランを披露した。

坂井市の商社がインバウンド(訪日外国人客)を増やし地方創生につなげようと初めて企画した。高志中3年のグループは、観光の好循環をテーマに「外

国人観光客に満足してもらい、その友たちが訪れるサイクルを作ることが重要」と提案。県内のALIT(外国語指導助手)に国内旅行で困ることを取材し「観光案内のホームページは多言語で」など改善すべき点を訴えた。福井らしさを味わってもらうために、永平寺参拝の後に「お寺泊」を取り入れたツアーも提案した。

福井大附属義務教育学校8年のグループは福井市の福井大を中心とする学校、文化施

県内の中高生が外国人観光客を増やすアイデアを発表したコンテスト＝21日、福井市のアオッサ



設が集中する地区を舞台に、世界の生徒が集うフォーラム誘致を提案。「教育施設の横

のつながりを増やし、地域活性につなげる」と効果を訴えた。(石井敬夫)